

令和 5 年 12 月 25 日

学生各位

西日本工業大学

生成 AI 利用に関するガイドラインについて

はじめに

近年, ChatGPT, Bing, Bard など公開されている生成 AI サービスは, 大きな注目を集め, 急速に発展しています。この生成 AI を活用することは, 利便性や生産性を向上させ, 私たちの暮らしや社会をより豊かなものへと導く可能性を秘めています。このように様々な可能性が示唆されている一方で, 信頼性や透明性, 法的な諸問題などの面において, 懸念やリスクも多く指摘されています。

本学では, 生成 AI のメリット・デメリットを理解した上で, 下記の注意事項に則り, 教育研究活動や業務において適切かつ有効的な活用を目指します。なお, 今後生成 AI に関する技術の進展や社会での活用状況等に照らし合わせ, 本ガイドラインは順次改訂を図ることとします。

注意事項

- 機密情報や個人情報の取り扱いは十分注意してください。
オンライン版 Chat GPT の様な Software as a Service (SaaS) 型クラウドサービスは約款型外部サービスに区分されます。SaaS では入力したデータの扱いは全てサービス提供企業に蓄積され, 何等かの形で入力者の意思に無関係で利用されることがあります。そのため, 機密情報や個人のプライバシーを侵害する恐れのある内容の入力は禁止します。
- 偏った内容や不正確な情報に注意してください。
生成 AI の出力には, 偏りや不正確, 不適切である内容が含まれることがあります。出力された内容が正確な情報であるかどうかは利用者自身が他の情報源を調べるなどして適切に判断する必要があります。
- 出力された結果には, 許可されていない著作権に関する様々な情報や商標権などの権利を侵害する内容が含まれる可能性があります。
生成されたものを公開する前に他者の権利を侵害していないかを確認しなければなりません。

授業に関して

本学では、講義等の教育利用において生成 AI の使用を一律禁止とはしません。ただし、生成 AI の出力には偏り、不正確な内容や、他者の権利を侵害する内容が含まれることがあるため、学生の皆さんは、この点に注意し、自分自身が制作・製作した内容をしっかりと確認し、責任を持つ必要があります。特に、レポートや課題、論文を作成する際に、生成 AI の出力内容をそのまま利用したことが確認された場合などは、不正行為とみなされ懲戒の対象となる場合があります。十分注意してください。

学生本人を含め友人などの個人情報や協力関係にある企業団体等の情報を無許可で AI へ入力してはいけません。個人の特定につながる住所氏名や身体的特徴など、自分自身で公開していない情報は絶対に入力してはいけません。特に気を付けなければならない点として、自分で作成した文章（自己 PR など）の要約を生成 AI に行わせるような場合には、文章中に自身や友人、また、関連の企業団体などの情報に非公開情報が入っていないかを十分に確認する必要があります。

卒業研究などに関して

研究活動での利用においては、研究活動のアイデアを生み出すことや、論文、著書等の素案作成での利用等が想定されますが、原則として出力を最終的な成果物に含めることはできません。先述した通り、生成 AI の出力には偏りや不正確な内容、他者の権利を侵害する内容が含まれることがあり、ねつ造や盗用、剽窃といったリスクに留意し、研究不正が生じないように注意してください。

また、研究活動利用において、匿名加工していないアンケート結果、成績などの個人情報を AI へ入力してはいけません。共同研究などの外部の企業や団体との研究活動においては、AI の入力に各種データなどを用いた場合には守秘義務違反となる可能性がありますので、関連企業団体と事前に協議するなどの対策が必要です。

なお、「注意事項」を遵守した上で、指導教員の指示に従ってください。決して学生個人の判断での研究利用を行わないでください。